



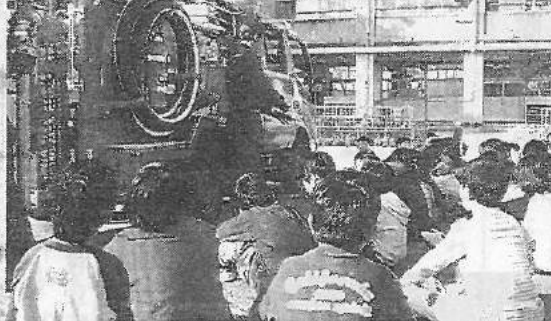
# 火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所  
 八尾市消防団  
 発行責任者  
 八尾市消防団長  
 松村 芳治  
 八尾市高美町5-7  
 TEL(0729)92-0119  
 FAX(0729)92-7722

## 消防団・消防署のみなさんへ

# ありがとうございました!



南高安小学校4年生(平成14年10月24日)

## 子供たちから熱いメッセージ

写真は、南高安分団が南高安小学校で行った「聞き取り学習」の風景です。

(関連記事は6面)

# 新しい時代に向って



八尾市消防団長  
松村芳治

「自分たちのまちは、自分たちで守る」という基本理念のもと、消防団はあらゆる災害に対し、重要な役割を果たしています。

近年の社会経済情勢の厳しい中での消防団員の活躍と、ご家族の皆様のご協力に心から感謝いたしております。私たちは、先輩諸氏が築いてこられた、よき伝統を守りながら新しい時代に向って行かなければなりません。八尾市消防団は、平成7年から活性化委員会を設置しており、昨年はアポロキャップ・活動服を取り入れる等、今後若者に受け入れられる魅力ある消防団をめざして行く所存であります。

さて、昨年海外では、ヨーロッパの広い範囲で異常多雨となり、ロシアをはじめヨーロッパの各地で、約100名が死亡したと報じられています。

また、国内では、大阪市淀川区のJR東海道線の軌道敷地内において、救急活動中2名の消防職員が死傷するという大変重大な事故が発生しました。

近い将来には、南海地震の発生が予想されており、マグニチュード8.4前後の規模の大地震で何千人という死傷者が発生すると予想されています。

このような中、私たちは郷土愛の精神で、地域に密着し期待され信頼される消防団員として活躍頂くことを願っております。

最後に、団員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。挨拶いたします。

# 八尾市消防出初式

平成15年1月13日(月)、市立八尾中学校において、消防職・団員総勢416名・車両35台、が参加して、出初式が開催されました。

午前10時に、大阪市消防局航空隊の祝賀飛行が行われ、続いて消防音楽隊の行進曲の演奏で、徒歩部隊を先頭に、自動車部隊そして幼年消防クラブのちびっこ達も参加し、可愛らしい表情で、火の用心を呼びかけ、会場が大変盛り上がりしました。

続いて、地域防災に貢献された団員に対して、市長・団長表彰が行われ、その後、消防救助隊による訓練披露があり、その勇ましい訓練姿に会場からは歓声があがり、惜しみない拍手がおくられました。



最後に、はしご車、ちびっこのミニ消防車、消防団の一斉放水で幕を閉じました。今年の出初式は、天候に恵まれ、祝日の開催でもあり、沢山の方々が見学にこられました。私たち団員も、市民の安全を守ることを第一層新たにする事が出来ました。

山本分団 西村・岩田

# 大阪府表彰式

平成15年3月23日(日)、府立青少年会館(中央区森之宮)で平成14年度大阪府消防表彰式が行われ、本市から、知事表彰を含め多くの団員が栄えある表彰を受章されました。



### 知事表彰

### ○消防勤続功労章

曙川分団 分団長 杉田茂信

山本分団 副分団長 久田弘義

### ○消防功労章

副団長 畑中裕昭

山本分団 団員 岩崎信雄

志紀分団 部長 六田利則

志紀分団 部長 西口 勲

### 日本消防協会会長表彰

### ○功績章

副団長

川田政宣

# 分団特集

## 久宝寺分団

信頼される・親しまれる

消防団をめざします！

久宝寺分団は、藤本分団長以下10名によって構成され、久宝寺地区を中心に北は宮町、南は洪川町、JR大和路線、東は末広町、西は大阪市、東大阪境界までを活動範囲としています。久宝寺地区のほぼ中央に屯所があり、小型動力ポンプ付積載車1台を有し、防災活動を行っています。

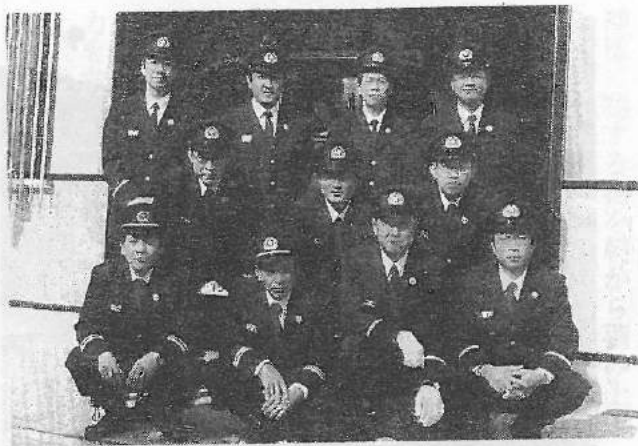
前号でも紹介した様に、昨年の6月屯所改築が完了しました。久宝寺地区は、戦国時代に寺内町として整備され、以来45年の歴史を現在に伝える貴重な町として注目されています。基盤の目に似た町割りや、水路、町屋など当時の面影を残す、歴史的景観に調和した美しい屯所として、また近年の課題である「地域住民に、より信頼される・親しまれる消防団」の活動拠点として、新しく生まれ変わりました。

「信頼される消防団」をめざし、毎月1日を「火災予防デー」として、地域のパトロールを実施し、そのあと行事の確認や器具の

点検等、全員でミーティングを行っています。

また、「親しまれる消防団」としては、1月の福祉交歓会に始まり、とんど警備、「好きやねん久宝寺まつり」、市民スポーツ祭などに参加し、とくに夏祭りでは警備ではなく、全員で神輿を担ぐなど、積極的に地域との交流を図っています。

わずか10名の団員数であるが故に、行事が重複すると、団員がフル稼働の状態になりますが、普段からコミュニケーションをしっかりと取り、対応しています。



### 藤本分団長の話

「久宝寺分団は、わずか10名の小さな分団ですが、団員間の信頼も厚く、結束力の強い少数精鋭分団であると自負しています。この信頼関係こそが、大規模災害時に、生命と財産を守るべき大きな機動力となり得ると確信しています。新しくなった屯所を拠点に更なる意識の向上をめざします。」

最後に、久宝寺分団は、これからも「信頼される・親しまれる消防団」をめざし、今まで以上に力を合わせ、市民の皆様が安全で過ごしやすい町づくりに励んでいきたいと思えます。

久宝寺分団 志村

○勤続章  
志紀分団 分団長 阪上政義  
志紀分団 副分団長 角野秀幸

大阪府消防協会会長表彰

○功績章

龍華分団 分団長 辻村 浩

○永年勤続章

曙川分団 分団長 杉田茂信

高安分団 部長 清水定男

志紀分団 部長 西口 勲

山本分団 団員 岩崎由喜雄

○勤続章

山本分団 団員 石井正一

山本分団 団員 辻井義治

志紀分団 部長 羽田勝紀

志紀分団 班長 小西繁夫

○精勤章

久宝寺分団 分団長 藤本哲也

大正分団 副分団長 阪本俊勝

大正分団 班長 辻井敏城

曙川分団 団員 藤井善文

曙川分団 団員 吉村孝司

南高安分団 部長 安井敏治

山本分団 団員 川上剛弘

志紀分団 班長 森脇和信

志紀分団 団員 山口光宏

○勤功章

八尾分団 団員 川端 均

大正分団 部長 今仲 茂

南高安分団 部長 西尾公信

志紀分団 班長 増田志郎

志紀分団 団員 森芳則行

志紀分団 団員 山本悟秀



平成14年12月20日(金)、高安分団南部分隊(服部川・郡川地区)に新車両が配備されました。

当日、午前8時30分に服部川屯所に斎当分団長以下消防団員11名が集合し、消防本部に向けて出発しました。

新車両は最新の側板式で、性能も向上、様々な改良がなされており、使い勝手のよい車両となっております。

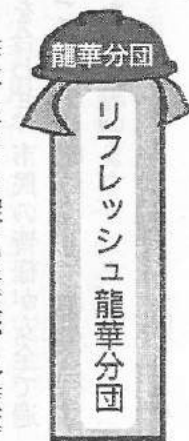


消防本部で、車両の操作説明を受け、新車両で屯所に戻りました。

屯所では、両地区の区長さんと自治振興委員の皆様方を招待し、神主さんをお呼びしてお祓いを受けた後、服部川会館でささやかな宴を催しました。

その中で、地区役員さんから、消防団への感謝と今後ますますの活躍を、とのあいさつの後、斎当分団長から、今まで以上に地域防災に邁進する決意が述べられ、我々南部分隊一同更なる決意をし、団活動に精進する事を誓いました。

松田



昨年11月に屯所の屋根、外壁等が改築され、リフレッシュいたしました。

また42年の長い間、龍華分団の要として活躍されてきました辻村分団長が3月31日付けをもって勇退され、新分団長には、泉副分団長が就任し、わが団では、初めての親子二代にわたつての分団長となります。

龍華分団は、八尾市消防団の中では7名と最少人数の分団ですが、チームワークはこの分団にも負けないと思っております。

これからも訓練に励み、地域・行政とのコミュニケーションを図り、防火・防災活動に努めて行きたいと思っております。



今回の大正分団名物団員は、太田分隊の阪本俊勝さんです。

阪本さんは、大正分団の副分団長として分団長を補佐し、みんなをまとめ、統率する団の要として活躍中です。



長年、柔道をしてこられたので、交友関係が広く、スポーツマンです。

そして、ゴルフが上手で歌もうまく、「気前が良くて肝っ玉もどかい。」みんなの良き兄貴分であり、模範であります。

ただ、「○○○もどかい」ので、親睦旅行の部屋割りはいつともくじ引きです・・・。

辻井

# 消防分団 2003

志紀分団

## 新春恒例とんど祭り

今回は、志紀分団の各分隊（田井中・老原・天王寺屋・弓削）が行った、とんど祭りについて紹介します。

とんど祭りは、歳末警戒から始った年末年始の締めくくりの行事で、今年も、1月11日（土）から1月13日（月）、場所は、神社・公園・広場において行われました。地域によって違いますが、それぞれ自治会・子供会・壮年団が中心となり、我々消防団も地域の要請により、安全と防火活動を目的に毎年参加しています。

正月の門松やしめ縄飾り、お



札、お守りなど、個人で持ち寄った神様に関する物を朝から積み上げて、お昼から夕方にかけて点火をし、燃えている約2時間程の間警備をします。その間、参加されている皆さんは、世間話に花を咲かせ、子供達は真っ黒になった橙を集めたりと楽しい時を過ごします。

火の勢いが衰えてくると、若手の団員が中心となり、先輩団員の号令により迅速かつ正確に放水をはじめ、火の気が無いことを確認して、消火作業を終えます。地域の人々と力を合わせて行う、新春恒例の行事として大変喜んで頂いております。

最後に、参加している子供達が防火に関心をもち、そして、間近で見ると我々消防団の活動に興味を持ってくれる事を願っています。

増田・吉内

曙川分団

## 歳末特別警戒

平成14年12月28日から30日の3日間、午後8時から明方の4時頃まで、歳末特別警戒を実施しました。

各分団とも、屯所での待機や、管轄地域を消防車で広報しながらパトロールして、歳末の有事に備えました。

曙川分団では、各地区のボラン



(青山5丁会の皆様)

ティア団体が行っている歳末特別警戒への激励訪問も行いました。訪問場所は次のとおりです。

町会名・場所  
高美町四丁目町会  
高美会館

別宮宿舎自治会  
別宮団地集会場

青山5丁会  
青山5丁目会館

東中田自治会  
中田2丁目森脇方

刑部町会  
刑部老人クラブ会館

二俣住宅自治会  
府宮二俣住宅集会場

八尾木東町会  
八尾木東1丁目井上方

各町会の皆様、夜遅くまでご苦労様でした。

吉川



(あひる保育園の園児と先生)

# 文化財を守れ!

1月24日(金)、八尾市本町3丁目の慈願寺で文化財防火デー(26日)に先がけて消防訓練が実施されました。

慈願寺は、絵画・文書など多数の、市指定の文化財を保有しており、この貴重な財産である文化財を火災の被害から守り、そして市民の文化財愛護と防火意識を高めて頂くため、消防署・消防団、慈願寺関係者等42名と4台の車両が参加して行わ



れました。

訓練は、『慈願寺本堂に隣接する住宅から火災が発生、強風のため火勢が拡大、本堂に延焼しようとしている。』との想定で、通報訓練から始まり、初期消火・文化財の搬出・人命救出・放水訓練、最後に救急隊による応急処置訓練と、多彩で充実した内容の訓練となりました。

八尾分団 武林

## 聞きとり学習

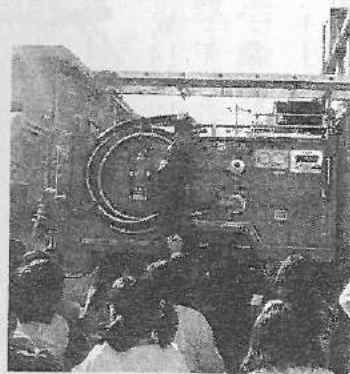
1面 関連記事

講義開催のきっかけとなったのは、「おっちゃん、学校に消防団の事教えにきてえや。」の一言からでした。

授業で消防活動について勉強していた時、その生徒が「僕、消防団のおっちゃん知ってるで、呼んで来たるか。」と言って、直接団員に声をかけて来たのです。

当日は、消防本部からは、警防課とタンク小隊、そして私たち南高安分団が学校に行き講義を行いました。  
子供たちは、はじめに畑中方

消防団のみなさん  
消防団のみなさんは  
たく勇氣があると思  
います。自分たちが川に  
はいで流れをせきとめ  
たという話を聞いた  
時にはぼくにははと  
うてい無理だと思  
いました。  
10月25日 松岡 諒 5  
歳

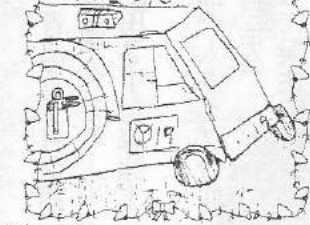


面隊長の、体験談を聞き、質疑応答の後、4つのグループに分かれタンク車・団積載車・林野火災用ポンプ・ジェットシューターの説明を受けました。そして実際にジェットシューターの放水を体験しました。  
子供たちはたいへん興味を持って学習にのぞみ、とくに方面隊長の水防体験談に、熱心に耳をかたむける姿が印象的でした。

後日、子供たちから、まとめのノートと、感想を兼ねた激励のお手紙を沢山頂きました。  
ノートには、消防団員が他に職を持ったおじさんたちのボランティアである事や、消防署と消防団の違いなどが書かれてあり、消防団の活動がすっかり理解された事を実感しました。  
南高安小学校4年生現5年生のみなさんお手紙ありがとうございました。  
子供たちの手紙を読んで、『消防団をやっている良かったな』と思うとともに、これからも地域防災活動に頑張るつもりです。

南高安分団 松岡 孝

消防団のみなさん  
いろいろ話を聞かせて  
いただきありがとうございました。  
最後には、ぼくまで見  
せて下さってすごく勉強  
になりました。  
南高安小学校4年生徳谷幸之助5  
歳



追記 記事作成にあたり、松本  
絵美先生並びに南高安小学校の  
先生方のご協力有難うございま  
した。

# ボウリング大会

平成14年11月8日(金)に、消防団厚生事業の一環として、恒例のボウリング大会が開催され、松村団長以下155名が、八尾ボウルアローに集結しました。

ふだん顔を合わせることも少ない他の分団の人達と上位入賞をめざし、また日頃のストレス解消に汗を流し、楽しいひと時を過ごしました。

上位入賞及び豪華賞品を手にした方々は次のとおりです。

- 優 勝 湯田真二郎(40歳) 志紀  
 進優勝 山本雅英(38歳) 南高安  
 3 位 岩崎由喜雄(35歳) 山本  
 ハイゲーム賞 山本雅英(23歳) 南高安  
 団長賞 兼子弘行 山本  
 方面隊長賞 角倉建基 志紀



(感無量です)

大正分団 杉本

# 調子はいかがですか?

昨年11月16日(土)、消防本部において健康診断が実施され、全団員の約半数の方が受診されました。

全体の判定としては、前年と基準が少し変わっており比較は出来ませんが、やはり、肝機能、血中脂質の所見を中心に、何らかの異常が見られるようです。

日々の仕事や消防活動に力を尽くしていくには、先ず身体が健康でなければいけません。この検査結果をもとに、生活スタイルの改善(食事、運動等)を考え、健康体をめざし、維持していきたいものです。例にもれず、私も現在生活改善に取り組んでいます。



八尾分団 小川



## 診断結果

受診者 121名で、所見結果については次表のとおりです。

所見別	
肝機能検査	53人
血液一般	22人
脂質検査	62人
糖尿検査	7人
聴力	15人
血液検査	24人
尿検査	14人
胸部X線	2人
心電図	11人

## まち火消 川柳コーナー

今回は、皆様よりお寄せいただいた川柳の中から6句、紹介いたします。

- 元日に 有無と言わせぬ 指今あり 火出太郎
- 新年の 酔いが覚めたら 出初め式 八尾えびす
- サイレンが 気になる僕は 消防団 いくぞー
- 出勤し いたすら電話に ホツとする タメイワク
- お疲れい こんを夜中に 火事出さな ちよん巻用の介
- サイレンで 家族みんなが 団員に O.P.O

# 平成14年 八尾市消防白書

## 【火災】91件

◆ 死者3人・負傷者22人

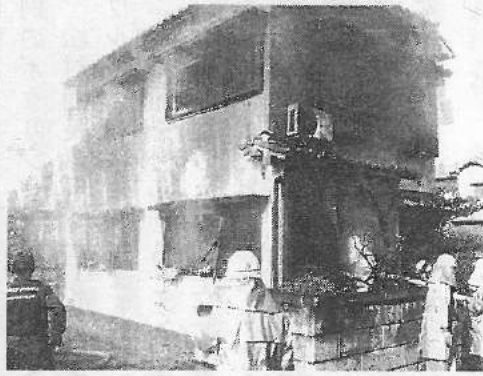
◆ 損害額1億9千344万1千円

(1日当たり約53万円)

◆ 原因1位「放火(疑い含む)」

2位「火遊び」 3位「コンロ」

火災件数は、91件で前年に比べ3件の減少となり、約4日に1件の割合で火災が発生したことになります。



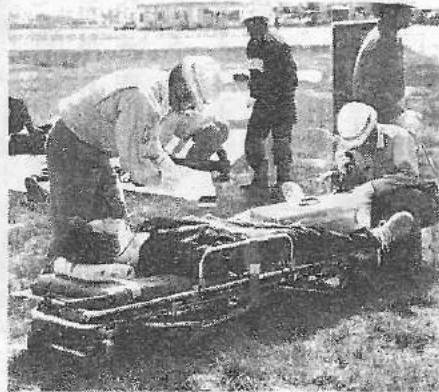
## 【救急】1万2千286件

◆ 1日34件

(約43分に1件・市民24人に1人)

### ◆ 消防団災害出場状況 ◆ 平成14年中

	火災		火災以外	
	件数	人員	件数	人員
団本部	19	26	23	29
久宝寺	11	78	7	57
西郡	1	1	7	51
八尾	6	37	8	58
龍華	10	41	3	11
大正	8	88	11	102
曙川	3	31	11	92
南高安	8	209	10	163
高安	9	151	13	150
山本	8	246	12	395
志紀	3	62	5	115
合計	86	970	110	1223



◆ 事故種別1位「急病」  
救急件数は1万2千286件、搬送人員は1万1千670件で、前年に比べ442件366人増加し、毎年増える傾向にあります。

## 【救助】299件

◆ 事故種別1位「交通事故」  
救助件数は299件で、うち救助活動件数は82件、救助人員は61人で前年に比べ13件減少しました。



### ● 広報部会名簿 ●

委員長	副委員長	委員
久宝寺分団 横山典久	高安分団 小西光往	八尾分団 小川元清
久宝寺分団 志村正雄	西郡分団 嶋林正雄	八尾分団 小笠原志一
八尾分団 武林広高	龍華分団 岸林広高	大正分団 辻井敏
曙川分団 杉本啓一	南高安分団 吉村孝三	南高安分団 吉村孝三
南高安分団 松岡利行	高安分団 松岡利行	高安分団 松岡利行
山本分団 松岡利行	山本分団 松岡利行	山本分団 松岡利行
志紀分団 吉内直之	志紀分団 吉内直之	志紀分団 吉内直之

### 編集後記

今回で11号！ 次の大台に向けて充実した紙面で発刊することができました。ありがとうございます。次号も色々な視点から新鮮な記事をお寄せ頂きますようお願いいたします。

(小川元)